

## 甲南大学

グローバルリテラシー教育プログラム

受講生  
インタビュー

&lt;2024年度受講生&gt;



現在私は神戸市中央区の人と防災未来センターで語り部ボランティアをしています。センターには外国の方もたくさん見えます。

センターでは語学ボランティアの方もおられますが、おられない場合には説明を求められることもあります。その場合、たどたどしい英語で説明していたのですが、なかなか思うように説明することが出来ず、心機一転、英語を甲南大学で勉強してみようと思いました。

前期の平井先生の授業ではミャンマー、ベナン、イタリア、イランの方やカナダ移民の日系の方、ハワイ大学の先生など多彩なゲストから、国の文化や歴史、教育などを実際に英語を通じてお話することが出来ました。ミャンマーやベナンの国情などは知らないことが多く、改めて自分が日本のことしか知らないことを痛感しました。本コースでは、単に語学力のスキルアップだけでなく、いろんな国の方と話すことで新たな視点やものの考え方を広げることが出来ます。



ベナンの学生さんは民族衣装を着て甲南大学に来てくださった方もいて、衣装を通じてもお話はずみました。

## 受講を検討されている方へメッセージ

本プログラムに興味を持っていただいた方から、英検二級程度が必要ですか？とのご質問がありました。たしかに語学力があるほど、ゲストの方の会話やプレゼンで流暢に説明ができると思いますが、私の場合は日ごろの授業での他の受講生と感想を日本語で話したりするときにいろんな感化というか新しい学びをしていて、それが本プログラムの魅力であると思っています。さらに本プログラムでは、オプションで語学や一般科目を外部で受講するよりも割安な値段で受講することが出来ます。私は前期は語学と福祉心理学、後期は語学を受講しました。語学では学部や大学院の学生さんとプレゼンの練習を行うのですが、学生さんが日ごろどんなことに興味を持っているのか等を伺うことが出来ました。本プログラムを受講し、たくさんの方とお話することで視点が広がり大変ためになったと思っています。